

第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画 成果指標(案)について【食の安全安心】

資料2

○第2次計画では、取り組みを評価するための指標と目標数値を設定し、食の安全安心に関する取り組みを推進してきたところである。これらについて、平成27年度市民アンケートにより検証（中間評価）を行った。
○第2次計画の中間評価では、達成3項目、改善3項目となったため、4項目について目標値を上方修正した。

○3次計画の指標は、中間評価の際に部会及び推進会議で頂いた御意見を参考に3項目を増やし、1項目変更をする。
○現行 9項目⇒3次計画 12項目

■ 2次計画成果指標の結果

・ 食の安全性・安心感に関する指標

《成果指標》

項目	H24	中間評価達成項目		中間評価改善項目	
		H27 (中間評価アンケート)	H30 目標 (当初)	H30 (H30実施アンケート)	H30 目標 (H27)
① 「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%	44.4%	50.0%		40.0%
② 「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%	54.1%	50.0%		40.0%
③ 「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	51.6%	55.3%	40.0%		40.0%
④ 「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%	54.1%	50.0%		40.0%
⑦ 食品について安全性が高まってきていると感じている市民の割合	新設項目	59.1%	50.0%		65.0%

■ 3次計画成果指標(案)

・ 食の安全性・安心感に関する指標

《成果指標》

項目	H28	H30年度アンケート値(⑥～⑧は実績値)	H34 目標
① 「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	44.4%		40.0%
② 「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	54.1%		40.0%
③ 「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	55.3%		40.0%
④ 「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	54.1%		40.0%
⑤ 食品について安全性が高まってきていると感じている市民の割合	59.1%		65.0%
※1 ⑥ 重篤(死亡者発生)または大規模(有症者50人以上)食中毒の発生件数	新設項目(0)		0
※2 ⑦ 収去検査における違反件数	新設項目(0)		0
※3 ⑧ HACCPについて知っている市民の割合	新設項目(6.5%)		50.0%

・ 市民の意識行動に関する指標

《成果指標》

項目	H24	H27 (中間評価アンケート)	H30 目標 (当初)	H30 (H30実施アンケート)	H30 目標 (H27)
⑤ 食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	8.9%	6.5%	15.0%		15.0%
⑥ 食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合	40.2%	42.3%	55.0%		55.0%
⑧ 食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合	新設項目	61.3%	75.0%		75.0%
⑨ 食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.6%	62.6%	60.0%		60.0%

・ 市民の意識行動に関する指標

《成果指標》

項目	H27 (中間評価アンケート)	H30 (アンケート)	H34 目標
※4 ⑨ 食の安全性確保のために意識して実践していることがある市民の割合(★1)	新設項目		55.0%
⑩ 食品を購入する際に表示を確認している市民の割合	42.3%		55.0%
⑪ 食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合	61.3%		75.0%
⑫ 食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	62.6%		60.0%

★1:「まな板・包丁を洗浄、消毒している」、「肉は十分に加熱して食べている」、「調理前には必ず石鹸で手洗いをして」、「なるべく生産者のわかる野菜を購入している」など

- ※1 市民アンケート結果以外に「大規模食中毒発生数」と「収去検査における違反件数」を安全性確保の成果指標として掲げる。
- ※2 施策の結果として出するため、アンケート項目の変更は不要。
- ※3 市民のHACCP周知度の向上は、事業者のHACC導入推進に結びつく可能性が高い。また、H27年度の市民アンケートで、HACCPについて「知っている」と答えた人の方が、「食の安全性が高まってきている」と感じる割合が高かったことより、市民の食への安心感を高める指標とも成り得ることから成果指標とする。
新設項目だが、平成24年度から市民アンケート項目としているため、アンケート変更は不要。
- ※4 「イベントや講演会に参加することだけではなく、家庭で安全性を考えて何かを実践している人、例えば、意識して産地から直接食材を購入している人など、食の安全性に関する活動に参加している人であると捉えてもよいのでは。」との御意見を頂いたことから、項目名を変える。
アンケート項目追加が必要。